

「鯖江市の新幹線開業を見据えたまちづくり懇話会」 第3回会議録

1. 日 時 平成25年5月23日(木) 10:00~12:00

2. 場 所 市役所別館4階全員協議会室

3. 出席者

〈懇話会委員〉

| | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 宇坪 委員 | 2 梅田 委員 | 3 江川 委員 | 4 勝木 委員 |
| 5 窪田 委員 | 7 齋藤 委員 | 9 佐飛 委員 | 10 澤崎 委員 |
| 11 菅谷 委員 | 12 鈴木 委員 | 13 相馬 委員 | 14 高橋 委員 |
| 17 野上 委員 | 18 野村 委員 | 21 堀 委員 | 22 蓑輪 委員 |
| 23 村田 委員 | | | |

欠席者(8名)

| | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 6 近藤 委員 | 8 佐々木 委員 | 15 西川 委員 | 16 西村 委員 |
| 19 橋本 委員 | 20 福島 委員 | 24 山本 委員 | 25 吉村 委員 |

〈福井県〉

| | |
|------------------------|--------|
| 観光営業部ブランド営業課新高速交通活用推進室 | 猪嶋室長 |
| 〃 | 志尾主任 |
| 総合政策部交通まちづくり課 | 高木主任 |
| 〃 | 白崎企画主査 |

〈鯖江商工会議所〉

孝久 事務局長

〈鯖江市〉

牧野 鯖江市長(あいさつ)

〈事務局〉

| | | |
|------------|------------|------------|
| 加藤 総務部長 | 軽部 総務課長 | |
| 幸道 総務課参事 | 斉藤 秘書企画課参事 | 中村 商工政策課参事 |
| 近藤 総務課課長補佐 | | |

4. 会議次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 協議事項
 - (1) 北陸新幹線金沢開業を見据えた県内自治体の取り組みについて
(福井県ブランド営業課新高速交通活用推進室 猪嶋室長)
 - (2) 鯖江商工会議所北陸新幹線開通に伴う協議会の建議書について
(鯖江商工会議所 孝久事務局長)
 - (3) 長野県視察の結果と考察について
(江川委員)
 - (4) 意見交換
- 4 閉会

【会議内容】

- ・ 小諸はまち自体が非常にコンパクトにまとまっており、小さなエリアの中ですべてのことが網羅できるようになっている。鯖江も小諸を参考に、まちづくりを検討すべきである。
- ・ 人を中心に売り出していき、自分のまちを知った上で、市民が鯖江を自慢する活動を展開し、最終的には市民全員が観光の営業マンとなっているといい。
- ・ 今までどおり、隣のまちから来てもらえるようなまちづくりや歩いて回れるまち並みづくりをしっかりとすれば、人の呼び込めるまちづくりができる。(誠市、ご縁市、つつじまつり等)
- ・ 鯖江駅前だけでも元気であるべきである。駅に降りたとき、「めがねのまち さばえ。いいところだなあ。」と思ってもらえるような、駅に活気が生まれる取り組みが必要である。
- ・ 福井駅との連携を強化し、福井鉄道を利用して西山公園や道の駅、その周辺施設や商店街を回遊できるようなまちづくりを検討すべきである。
- ・ 関東からの来客は南越駅よりも福井駅を利用される方が多くなると思う。集客力の面からも福井駅との連携を最優先して考えるべきである。
- ・ 新幹線開通をひとつのきっかけとして、当方の要望事項（インフラや駐車場など）をどれだけ受け入れてもらえるかが重要となる。
- ・ 民間主導での事業展開が必要なことは承知しているが、事業を推進させるためには行政のバックアップが必要だと思う。
- ・ 新幹線については大阪まで開通して初めて意味をなす。敦賀止まりでは何のメリットもない。
- ・ 新幹線は福井止まりでよいと考えており、福井駅を活かしたまちづくりを検討すべきである。福井まで開通させ、敦賀以西が解決してから大阪や米原までの整備を同時に進めたほうが、鯖江にメリットが生まれる。
- ・ 8号線を南北に繋ぐ、シャトルバスの運行を検討してもらいたい。
- ・ 福井県は誘客に力が入っていないのではないかと。もう少し力を入れてほしい。